

登録番号 13-034
 氏名 小林 竜子

登録番号 13-006
 氏名 石井 桂子

大阪市地域公共人材活動報告書

記

1 派遣日時 2021年11月15日（月）19:00～20:30
 （第2回派遣）

2 派遣場所 異会館老人憩の家（異まちづくり協議会）

3 参加人員 17人

内訳：依頼団体：13名、地域公共人材2名、市民局（事務局）1名、
 生野区まちづくりセンター1名

4 活動内容

【1】派遣内容（ミッション）

男性高齢者が、引きこもりがちで孤立し、運動不足、コミュニケーション不足に陥っている。自宅を出て自分の居場所を見つけられるような、男性が参加しやすい活動企画の考案と、告知方法を検討し令和4年度の活動計画として実現可能性をたかめられるようファシリテーションを行う。オンラインでの会議は、高齢者はインターネット環境がなく難しいため、まずは啓発できる活動を検討されること。

【2】支援内容（どんなことをしたか）

・前回の支援で高齢男性がなぜイベントに参加できないか、またそれを改善するための議論を2つのグループにわかつて活発に話し合っていただいた。その際課題として認識されたトピックについて、4グループにわかつて深堀してアイデアだしをしていただき、改善策について各グループに発表していただいた。各グループのディスカッション中は模造紙と付箋を用いて、アイデアの記録と整理を行ってもらった。

① 前回の振り返り

② 本議題で対象となる男性高齢者の年齢の定義

- (1) 60歳以上？
- (2) 65歳以上？
- (3) 70歳以上？

③ どんな活動なら参加してもらいやすいか

- (1) 誰かと一緒に参加できる活動
- (2) 少しだけ役割をもたせる活動
- (3) 飲み会など楽しみのある活動
- (4) 従来の活動のバージョンアップ版

④ 告知方法

- (1) 口コミ
- (2) 紙媒体 折込チラシなど

(3) ラジオ・音声 FM

(4) 動画 Youtube など

- (1) 各セッションで、参加者が話しやすい改善策についてのテーマをえらんでいただき、1つもしくは2つのテーマで10~15分程度ずつ話し合っていただいた。
- (2) 各セッションごとの総括を各グループに1人は配置させていただいた男性の参加者にまとめを発表していただいた。

*役割分担・ファシリテーション：人材A

・書記：人材B

【3】成果（話し合いの結果、次回の内容）

●男性高齢者の年齢の定義

- ・60歳～2グループの意見 定年前、定年直後からかわってもらえるようにし、時間がゆっくりできる65歳に備えてもらえるのがよいのではないか
- ・65歳～2グループの意見 定年しないと時間がないで誘いにくい。定年直後あたり時間ができたが、足腰がまだ丈夫な方を対象

●どんな活動なら参加してもらいやすいか

- ・会館に集まるイベント ゲーム、カフェ、飲み会、映画観賞会などがあげられた
- ・従来のイベント 特に誰でも出来て体を動かせるスポーツ あるこう会、スリーアイズ大会、ディスコンなど
- ・「TTM48」や「おやじバンド」など奇抜なグループ名にしてメンバーをつのり、興味を引く
- ・副〇〇のように緩い役職をたくさんつけて参加いただく
- ・子ども食堂など社会的意義があるやりがいのあるイベントに参加いただく

●告知方法

- ・ゲーム：認知症予防ゲーム 人生ゲームなどボードゲームなど関心の高そうなもので興味を引く
- ・カフェ、飲み会：「純喫茶 昭和ロマン」など面白そうな名前をつけて掲示板や回覧板で関心をひく。 カフェ、飲み会の催しとしてゲームやスマホ使い方講座、映画鑑賞などしてみてもよい
- ・歩こう会；ビール工場見学など興味をそそる場所へ遠足
- ・ディスコン、スリーアイズ大会など開催頻度を増やして露出を多くする
- ・ITを使う：ブログ、LINE公式アカウントでの発信 FMは良いと思うが人、金のリソースが厳しいかも。
- ・子供世代が親を誘わせるようにする 子育て世帯にもLINEなどで告知して親に紹介してもらう
- ・子供の絵画展示：会館の集客として子供の作品展をする
- ・ポイント制：口コミで1人参加させたらポイント、参加したポイント、無料券など特典をつけることで口コミを発生、自発的な参加率も上げる

【4】今後の予定

- ・テーマ：「高齢者が活動しやすい活動」について、2回目までの案をもとに次年度予算として具体的な活動計画がたてられるよう計画書、企画書づくりを行う

【5】所感

今回は4グループに分かれ、3、4人で話し合いをしてもらうことにしました。男性だけ、女性だけに偏らないよう男女別にくじを引いてもらってグループを決めました。

最初に、対象年齢は？というテーマでも話し合ってもらったおかげで、「男性高齢者」というある種の固定観念を払拭した対象者像がイメージできたのではないかと思います。その成果として、アイデアも、前回と比べて格段に広がりを感じました。

参加者のみなさんが日ごろから活発に意見交換されているメンバーであるところも大きいと思いますが、次回は事業化に向けた具体的な話ができると思います。人材側としても楽しみです。

所感

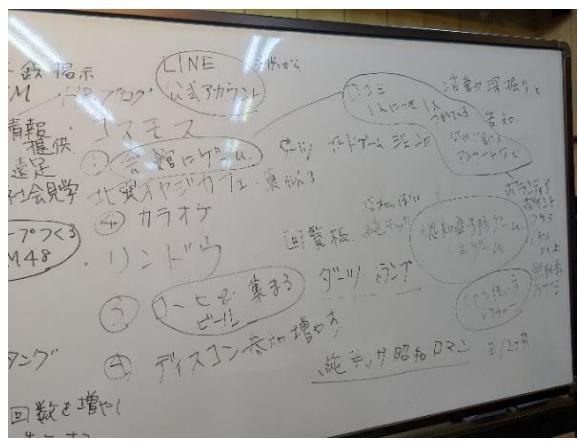
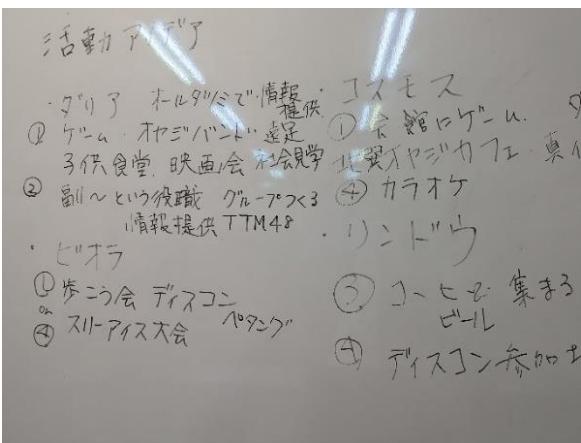
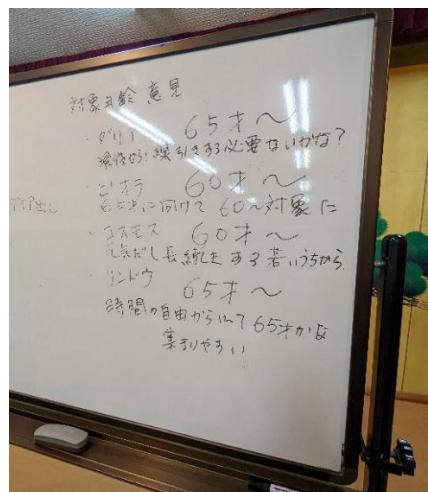
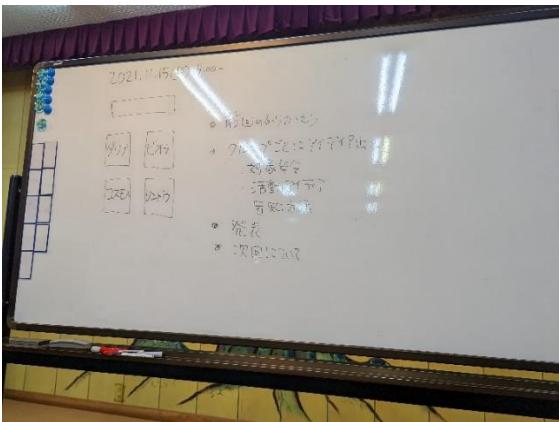
各ディスカッションは、前回の2グループでは発言しにくい方もおられたので4グループに分割

しました。今回も非常に活発な話し合いとなり、前回からのアイデアをさらに深めて具体的にすることことができたように思います。

模造紙と付箋については、使い方に慣れていない方も見受けられましたが、グループでの意見の記録には効果的でした。今回で出た案を実行するにあたって、来年の事業計画に盛り込めるよう次回の派遣でまとめに入していく予定です。

ディスカッションの場がとても楽しかったというご意見もあったようで大変良い成果が得られたと思います。

＜ディスカッション＞



<各グループ 模造紙>

